

平成24年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1494200023	事業の開始年月日	平成22年12月16日
		指定年月日	平成22年12月16日
法人名	株式会社 メディカルケアシステム		
事業所名	グループホームちいさな手 海老名ふれあいの丘		
所在地	(243-0410) 神奈川県海老名市杉久保北2-18-25		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成25年1月26日	評価結果 市町村受理日	平成25年5月18日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wp/Details.aspx?JGNO=ST1494200023&SVCD=320&THNO=14215
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームの自慢は、外周にある菜園です。季節の野菜や花を入居者様と一緒に種蒔きから始め、収穫を楽しみ、旬の物を皆様と味わっています。1年を通して皆様の楽しみの一つとなっています。また、静かな住宅街の中にありながら、近隣に大きなドラッグストアやコンビニがあり、買い物を楽しみ、地域とのふれあいの場となって自立支援にも結び付いています。ホーム内は、自然光が入る広いウッドデッキがあり、明るくゆったりと過ごせ、入居者様の憩いの場となっています。日々のケアでは、入居者様の意向を尊重し、物事を選択して頂けるような声掛けを実践しています。スタッフは、入居者様が安心できる関係を築ける様、常に温かい雰囲気作りを心がけています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成25年2月26日	評価機関 評価決定日	平成25年4月22日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、相模鉄道線または小田急線の海老名駅からバスで約15分、バス停から徒歩約4分程の住宅地に立地した静かな環境にあります。建物内部は玄関が開放感のある吹き抜けになっており、内部は明るい色調で洋風のしゃれた造りとなっています。南面にはウッドデッキがあり、窓を大きくとっています。利用者は窓際に椅子を並べて、日光浴をしながらゆったりと毎日を暮らしています。

<優れている点>

医療連携体制を敷き、医師と看護師との連携を図りながら、安心して医療を受診出来る体制になっています。看取りに際しては、医師の診断の基に、本人の希望、家族の理解と協力により、可能な限り看取り看護を行う方針を確立しています。平成24年10月より延命に関する取り交わしを行い、利用者と家族との思いを確認しながら、安心と納得が得られる介護の支援に努めています。

<工夫点>

職員は毎朝、午前・午後の散歩、外周の掃除、利用者の軟膏の塗布、午前・午後の入浴、歩行訓練などの各担当を話し合いにより決めていきます。利用者を支え、よりよい介護・介助のサービス向上に努めています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームちいさな手 海老名ふれあいの丘
ユニット名	1階

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所内に掲示してあるホームの理念を常に意識しています。「選択して頂く」という思いを日常の声掛けにて実践しています。	理念は開設時に管理者が中心となり、職員と話し合って作成しています。玄関と1階・2階のフロアや事務室に掲示しています。管理者は新入職員研修時に理念を説明し、職員には日頃より利用者の「選択」の大切さを説明し実践につなげています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入会しており、地域の行事の連絡を頂いています。お祭りなどの地域行事にも参加させて頂いています。	町内会に加入し、地元の神社へ初詣に行き、夏祭りには神輿を事業所の前で見物しています。ボランティアがカラオケ、ハーモニカ演奏に来所していません。職員は利用者と一緒に近くのドラッグストアなどへの買い物時に地域の方と挨拶を交わしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	海老名市事業所連絡会のホーム見学では、日常の支援の方法をお伝えし、ホームでの取り組み、支援方法をお伝えしています。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	包括支援センター・市役所の助言を頂きながら行なっている。近所の他事業所との合同開催も予定しています。	運営推進会議は年3回程度開催しています。会議では事業所の運営状況や活動内容を説明し、外部評価の受審についても報告しています。意見交換を行い、理解と支援を得て運営面に反映するように努めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険制度、管理者変更等について担当者と相談しています。介護保険更新調査では、調査員の方と情報交換が出来ています。	管理者は市の高齢介護課へ運営面や業務上の問題点を報告し、相談をしています。介護保険の要介護認定更新に家族が申請し、一緒に立ち会うこともあります。運営推進会議に地域包括支援センターの職員が出席し、地域の情報を得ています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員同士による声掛けのチェックを行なう事により、スピーチロックを防止している。 職員会議でも検討している。	職員には身体拘束の勉強会を実施し、正しい理解に努めています。玄関は防犯上と安全面から家族の了解を得て、オートロックにて施錠していますが、各フロアの出入り口は施錠せず見守りに努めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者は、ホーム内で虐待の見過ごしがないかを日々確認し、居室内の環境を含め、注意している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者は、後見人制度についての管理者と話し合い、知識を高め、その内容を職員にも周知している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書・重要事項説明書は、読み合わせをしながら疑問点を伺い、回答している。納得の上同意書も頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会において意見を頂いている。 居室担当を決めた事で、ご家族からの意見をまとめやすくなっています。	運営推進会議や年1回の家族会、家族の来訪時には声かけし、意見や要望を聞いて運営に反映しています。家族の要望を受け、玄関フロアに職員の顔写真と名前を掲示しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニットリーダーを置く事で気軽に意見を話す事が出来ている。出された意見については、内容を確認しながら会議で検討し、情報共有している。	管理者は各ユニット会議で職員の意見や提案を聞き、業務の改善や向上に反映しています。また、法人の代表者が管理者から要望や提案を聞き事業に反映しています。職員の提案により、水分補給と排尿などを記入するイン・アウト表を改善しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	同じ質問シートで面談を行い、また、日々のコミュニケーションを大切にし、個人の要望等の把握に努めています。休憩時間がきちんと取れる様に配慮しています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修や市役所等からの情報を得ながら、研修や講習の参加を呼びかけています。介護技術においては、管理者の直接指導も行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	海老名市介護事業所連絡協議会のメンバーの皆様が見学に来られました。その際に、意見交換をし、交流を深めることが出来ました。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	フェイスシートに思いや悩みを記入し、職員にも周知しています。ケアプランに意向を記入し、情報の共有をしながら安心した生活の支援に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	介護負担やご家族の精神的不安を伺っています。ホームに訪問された時も管理者と話し易い環境を心がけています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族の意向を元に、「声掛け」「支援」の統一を検討します。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護支援だけでなく、「自立支援」「できる事」を一緒にする介護を大切にしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	声掛け、支援方法については、ご家族にケアプランをご確認頂き、必要に応じて電話等で連絡しながら協力し、同じ方向性で支援しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	傾聴の中でご本人の出身地や生活歴の把握に努めています。また、馴染みの方の訪問をいつでもして頂ける様な環境作りをしています。	家族と一緒に馴染みの美容院、外食や墓参りに出掛ける利用者もいます。利用者の知人や友人が来訪する際は、予め家族の了解を得て、居室などで歓談しお茶出しをしています。年賀状が届き返信を書き、投函の支援をすることもあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	トラブルが起きない様見守りながら、出来る限り楽しい場でのコミュニケーションが出来るよう支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されても気軽に立ち寄れたり、相談が出来る様に努めています。		

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ホームが大切にしているご本人の「要」「意向」に添えるように、選択できる声掛けを大切にしています。	職員は日常の行動や表情、仕草から利用者の意向や希望を汲みとるように努めています。意向を自分から伝えにくい人には、家族から情報を得たりしています。居室や入浴の際に1対1で話を聞いたり、散歩や買い物時に話を聞いています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	実態調査表を読み、ご家族からのお話しや日々の生活を把握し、全体像を見えています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日中、夜間の情報を職員間で共有し、「思い」や「できる事」の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	医療従事者からの情報を取り入れ、ご本人、ご家族の意向を反映し、アセスメントにて全体像を掴みながら介護計画の作成を行なっている。	入居時には自宅や病院を訪問し話し合っています。フェイスシートを参考にし、アセスメント後、モニタリングしています。職員・医師の意見を取り入れカンファレンスを行い介護計画を作成しています。見直しは3ヶ月毎、変化があれば随時行っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	「情報の共有」を常に大切にしている。記録の記入は、「行動記録」にならない様に、職員一人ひとりが細かい観察をしています。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	身体状況に合わせ、医療・ご家族に相談し、ご本人の意向も尊重しながら、リハビリマッサージの施術を取り入れている。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	回覧板等の情報により、町内会のイベントに参加して頂いています。			
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問医と入居者様は、顔なじみの関係になっており、必要な治療が受けられ、安心に繋がっている。	かかりつけ医の医療機関を継続して受診できるように支援し、家族に代わって職員が通院介助する場合があります。ほとんどの利用者が協力医療機関の往診医に受診しています。医療情報は、受診記録や個人記録などに記録し、共有しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月4回の訪問看護が入っており、入居者様の健康管理を行なっています。職員からの報告・相談により、情報の共有ができています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院後も医療機関との連絡は、絶えず行なっています。退院時には、情報を頂き、支援の方向を決定しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り介護について、訪問医の判断の下ご家族と関係者にて話し合いを重ねています。看取りケアプランに添い支援しています。	入居時に利用者が重度化した場合における対応に係る指針を説明し、同意を得ています。平成24年10月より延命処置に関する事前指定書も取り交わしています。終末期は主治医と家族、職員が話し合い、最善の方針を採る方針を共有しています。	ターミナルケアは家族の要望と協力が得られ、医師の判断と合致すれば、行う方針です。そのためにも職員の勉強会を実施し、一層充実した体制づくりが期待されます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	海老名消防署の消防訓練時に対応方法について助言・指導を頂いています。日々の自主訓練でも更に身に付けていきたいと思えます。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な訓練を行う中で、より安全な方法を消防署に聞きながら、密な関係を保っています。災害時の連絡体制も市役所や町内会と連絡済です。	防災・避難訓練は、夜間想定を含めて年2回消防署の協力を得て実施しています。民生委員であるオーナーが隣家に住み、協力も得られる状況にあります。災害に備えて、非常食料や飲料水は備蓄がされています。	防災・避難訓練には、運営推進会議を通じて、幅広く近隣の人々の参加も働きかけ、より充実した訓練の実施が期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々に合わせた声かけを行いながら対応しています。 お名前も「～ちゃん」等で呼ばないように、職員には、徹底しています。	職員は利用者に対して親しみを持つと同時に、人生の先輩として尊敬し、言葉づかいにも配慮しています。トイレへの誘導の際には、そっと耳もとでささやき、他の人に分からないよう利用者の自尊心にも配慮しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ホームが大切にしている事でもあり、声掛けの中でも選択して頂く事を意識しています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ケアプランを基本としているが、必ずその日出勤した職員で話し合いを行い、体調・意向を考慮し、支援の方向を決めています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類の選択が可能な方は、その日に着る洋服を選んで頂き、その方なりのおしゃれを楽しんで頂いています。 ヘアカットも入居者様の希望に添って行っています。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	男女問わず皆様に声掛けし、調理・盛り付け・片付けに参加して頂いています。入居者様にとって役割となっている方もいらっしゃいます。	献立や食材は、外部業者の管理栄養士が作成したものが届き、事業所で手作りで調理をしています。庭の菜園で育てた野菜が食卓にのぼることもあり利用者の喜びの一つとなっています。年1回寿司職人を招き、握り寿司の日も皆楽しみにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の嗜好に合わせたながら、気持ちよく摂取できるよう支援しています。水分については、訪問医指導の下に、日々の必要水分量を把握しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご本人の「出来る事」を大切にしながら、職員が付き添い、職員の目で最終確認をし、清潔保持を心がけています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、情報の共有をしながらその方にとって安心できる排泄介助を行っています。	事業所独自のイン・アウト表にて利用者個人の排泄パターンを把握しています。時間でトイレ誘導することで排泄の自立を支援しています。丁寧な観察と声掛けで、排泄の自立度をあげ、改善へと繋げています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ご家族からの情報も頂きながら、ヨーグルト・水分等の摂取をして頂いています。医療への報告もしながら、便秘が続かないような取り組みをしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	体調や意向を確認しながら声掛けを行っています。拒否があれば、時間や対応する職員を代えたりしながら、気持ちよく入浴していただけるよう努めています。	入浴は基本的には週2～3回とし、利用者の意向に添うように、時間や順番などを考慮しゆっくり入浴できるように支援しています。入浴中は職員と1対1で対話し、利用者の思いや気持ちを知るよい機会となっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々に入床される時間が違うので、入床するまでの間、リビングにてくつろいで頂いています。 ご本人の意思で入床して頂く事を大切にしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の内容、成分等を職員が周知できるようにファイルに綴り、いつでも確認する事が出来ます。 変更時は、ノートに記入し、配薬時には、薬剤師から説明を受けています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個別支援が出来るようご本人に、したい事を伺い、楽しみに結びつく支援を心がけています。特に菜園は、皆様の気分転換の場所となっています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族による外出支援もご協力頂いています。歩行状態等を考えながら、買い物やドライブ等を楽しんで頂いています。	毎日の業務担当表で午前、午後の散歩担当を決めています。近くの神社やドラッグストア、コンビニへは日常的に散歩に行っています。事業所の周りは散歩道で、庭には菜園もあり、手軽に散策ができます。桜並木のドライブも喜ばれています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	認知症の症状の様子を確認しながら、ご自分で買い物をして頂く支援を続けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族と話しをしたいという意向や心配された時は、ご本人からご家族へ電話しています。また、ご家族から電話を頂く事もあり、安心して繋がっています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	皆様の居住の場である事を職員が考えながら、不快にならない様環境を整えています。また、四季折々の飾りや花などをリビングに置き、季節感を味わって頂いています。	建物の中央にリビングとキッチンがあり、南側の大きな窓からは陽が注いでいます。テラスにはベンチを置きくつろぎのひと時が過ごせます。リビング横のテレビコーナーもソファがあり落ち着ける場所です。利用者の七段飾りの雛人形も飾られていました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	外気を楽しめるウッドデッキは、皆様が「ホッ」とされる場所です。見守りをしながら一人になれる空間作りもしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込まれた品が、ご本人の安心になっているかを考えながら、ご家族と相談し、安心できる環境作りを心がけています。	全室南向きで日当たりがよく、クローゼットは広くベッドは備え付けです。長年使っていたタンスや小物を持ち込み、使い勝手の良いようにレイアウトして居心地よく暮らしています。庭で育てたひょうたんを着色して各自のドアに飾っています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入り口には、皆様がわかりやすい品を個々に用意しています。また、同意を得た上で、名前を記入させて頂いているので、ご本人が確認して入室されています。		

事業所名	グループホームちいさな手 海老名ふれあいの丘
ユニット名	2階

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所内に掲示してあるホームの理念を常に意識しています。「選択して頂く」という思いを日常の声掛けにて実践しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入会しており、地域の行事の連絡を頂いています。お祭りなどの地域行事にも参加させて頂いています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	海老名市事業所連絡会のホーム見学では、日常の支援の方法をお伝えし、ホームでの取り組み、支援方法をお伝えしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	包括支援センター・市役所の助言を頂きながら行なっている。近所の他事業所との合同開催も予定しています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険制度、管理者変更等について担当者と相談しています。介護保険更新調査では、調査員の方と情報交換が来ています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員同士による声掛けのチェックを行なう事により、スピーチロックを防いでいる。 職員会議でも検討している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	管理者は、ホーム内で虐待の見過ごしがないかを日々確認し、居室内の環境を含め、注意している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者は、後見人制度についてた管理者と話し合い、知識を高め、その内容を職員にも周知している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書・重要事項説明書は、読み合わせをしながら疑問点を伺い、回答している。納得の上同意書も頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会において意見を頂いている。 居室担当者を決めた事で、ご家族からの意見をまとめやすくなっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニットリーダーを置く事で気軽に意見を話す事が出来ている。出された意見については、内容を確認しながら会議で検討し、情報共有している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	同じ質問シートで面談を行い、また、日々のコミュニケーションを大切にし、個人の要望等の把握に努めています。休憩時間がきちんと取れる様に配慮しています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修や市役所等からの情報を得ながら、研修や講習の参加を呼びかけています。介護技術においては、管理者の直接指導も行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	海老名市介護事業所連絡協議会のメンバーの皆様が見学に来られました。その際に、意見交換をし、交流を深めることが出来ました。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	フェイスシートに思いや悩みを記入し、職員にも周知しています。ケアプランに意向を記入し、情報の共有をしながら安心した生活の支援に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	介護負担やご家族の精神的不安を伺っています。ホームに訪問された時も管理者と話し易い環境を心がけています。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族の意向を元に、「声掛け」「支援」の統一を検討します。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護支援だけでなく、「自立支援」「できる事」を一緒にする介護を大切にしています。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	声掛け、支援方法については、ご家族にケアプランをご確認頂き、必要に応じて電話等で連絡しながら協力し、同じ方向性で支援しています。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	傾聴の中でご本人の出身地や生活歴の把握に努めています。また、馴染みの方の訪問をいつでもして頂ける様な環境作りをしています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	トラブルが起きない様見守りながら、出来る限り楽しい場でのコミュニケーションが出来るよう支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されても気軽に立ち寄りたり、相談が出来る様に努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ホームが大切にしているご本人の「要望」「意向」に添えるように、選択できる声掛けを大切にしています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	実態調査表を読み、ご家族からのお話しや日々の生活を把握し、全体像を見えています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日中、夜間の情報を職員間で共有し、「思い」や「できる事」の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	医療従事者からの情報を取り入れ、ご本人、ご家族の意向を反映し、アセスメントにて全体像を掴みながら介護計画の作成を行なっている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	「情報の共有」を常に大切にしている。記録の記入は、「行動記録」にならない様に、職員一人ひとりが細かい観察をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	身体状況に合わせ、医療・ご家族に相談し、ご本人の意向も尊重しながら、リハビリマッサージの施術を取り入れている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	回覧板等の情報により、町内会のイベントに参加して頂いています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問医と入居者様は、顔なじみの関係になっており、必要な治療が受けられ、安心に繋がっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月4回の訪問看護が入っており、入居者様の健康管理を行なっています。職員からの報告・相談により、情報の共有ができています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院後も医療機関との連絡は、絶えず行なっています。退院時には、情報を頂き、支援の方向を決定しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り介護について、訪問医の判断の下ご家族と関係者にて話し合いを重ねています。看取りケアプランに添い支援しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	海老名消防署の消防訓練時に対応方法について助言・指導を頂いています。日々の自主訓練でも更に身に付けていきたいと思えます。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な訓練を行う中で、より安全な方法を消防署に聞きながら、密な関係を保っています。災害時の連絡体制も市役所や町内会と連絡済です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々に合わせた声かけを行いながら対応しています。 お名前も「～ちゃん」等で呼ばないように、職員には、徹底しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ホームが大切にしている事でもあり、声掛けの中でも選択して頂く事を意識しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ケアプランを基本としているが、必ずその日出勤した職員で話し合いを行い、体調・意向を考慮し、支援の方向を決めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類の選択が可能な方は、その日に着る洋服を選んで頂き、その方なりのおしゃれを楽しんで頂いています。 ヘアカットも入居者様の希望に添って行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	男女問わず皆様に声掛けし、調理・盛り付け・片付けに参加して頂いています。入居者様にとって役割となっている方もいらっしゃいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の嗜好に合わせたながら、気持ちよく摂取できるよう支援しています。水分については、訪問医指導の下に、日々の必要水分量を把握しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご本人の「出来る事」を大切にしながら、職員が付き添い、職員の目で最終確認をし、清潔保持を心がけています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、情報の共有をしながらその方にとって安心できる排泄介助を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ご家族からの情報も頂きながら、ヨーグルト・水分等の摂取をして頂いています。医療への報告もしながら、便秘が続かないような取り組みをしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	体調や意向を確認しながら声掛けを行っています。拒否があれば、時間や対応する職員を代えたりしながら、気持ちよく入浴していただけるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々に入床される時間が違うので、入床するまでの間、リビングにてくつろいで頂いています。 ご本人の意思で入床して頂く事を大切にしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の内容、成分等を職員が周知できるようにファイルに綴り、いつでも確認する事が出来ます。 変更時は、ノートに記入し、配薬時には、薬剤師から説明を受けています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個別支援が出来るようご本人に、したい事を伺い、楽しみに結びつく支援を心がけています。特に菜園は、皆様の気分転換の場所となっています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族による外出支援もご協力頂いています。歩行状態等を考えながら、買い物やドライブ等を楽しんで頂いています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	認知症の症状の様子を確認しながら、ご自分で買い物をして頂く支援を続けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族と話しをしたいという意向や心配された時は、ご本人からご家族へ電話しています。また、ご家族から電話を頂く事もあり、安心して繋がっています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	皆様の居住の場である事を職員が考えながら、不快にならない様環境を整えています。また、四季折々の飾りや花などをリビングに置き、季節感を味わって頂いています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	外気を楽しめるウッドデッキは、皆様が「ホッ」とされる場所です。見守りをしながら一人になれる空間作りもしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込まれた品が、ご本人の安心になっているかを考えながら、ご家族と相談し、安心できる環境作りを心がけています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入り口には、皆様がわかりやすい品を個々に用意しています。また、同意を得た上で、名前を記入させて頂いているので、ご本人が確認して入室されています。		

(別紙4(2))

事業所名 グループホームちいさな手 海老名ふれあいの丘

作成日： 平成 25年 5月 18日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	ターミナルケアへの取り組み ・ご家族様意向の確認と医療への連携 ・職員の勉強会実施	・書面によるご家族様への意向確認 ・訪問診療医療機関（主治医）との確認 ・ターミナルケアに関する職員への勉強会実施	ご家族様、医療機関のご協力を頂きながらターミナルケアの方針を定め、ご意向に添ったターミナルケアの実施に向け、職員の教育を実施していく。	12ヶ月
2	13	災害・避難訓練 ・近隣住民への働きかけ ・より充実した訓練の実施	・近隣住民を交えた訓練 ・更なる職員の知識向上	・運営推進会議を通じて近隣住民の方の避難訓練への参加を呼びかけると共に、消防署指導の下、更なる訓練の充実を図っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。